

文部科学省国際教育協力イニシアティブ

海外派遣隊員の家政分野に関する 活動支援教材等の開発

2008年4月8日

日本女子大学 佐々井 啓

1. 本プロジェクトの概要

- 家政分野の知識・技術の修得による生活の質の向上
- 4年間の活動成果を踏まえ、活動支援のための具体的な教材の開発
- 途上国の人々の生活の向上に緊要性の高い保健衛生、健康、環境等の内容の充実
- 参加型学習の指導過程の開発・提案
- 生活状況や現地情報を踏まえた活動事例集の作成

2. 昨年度の活動・成果

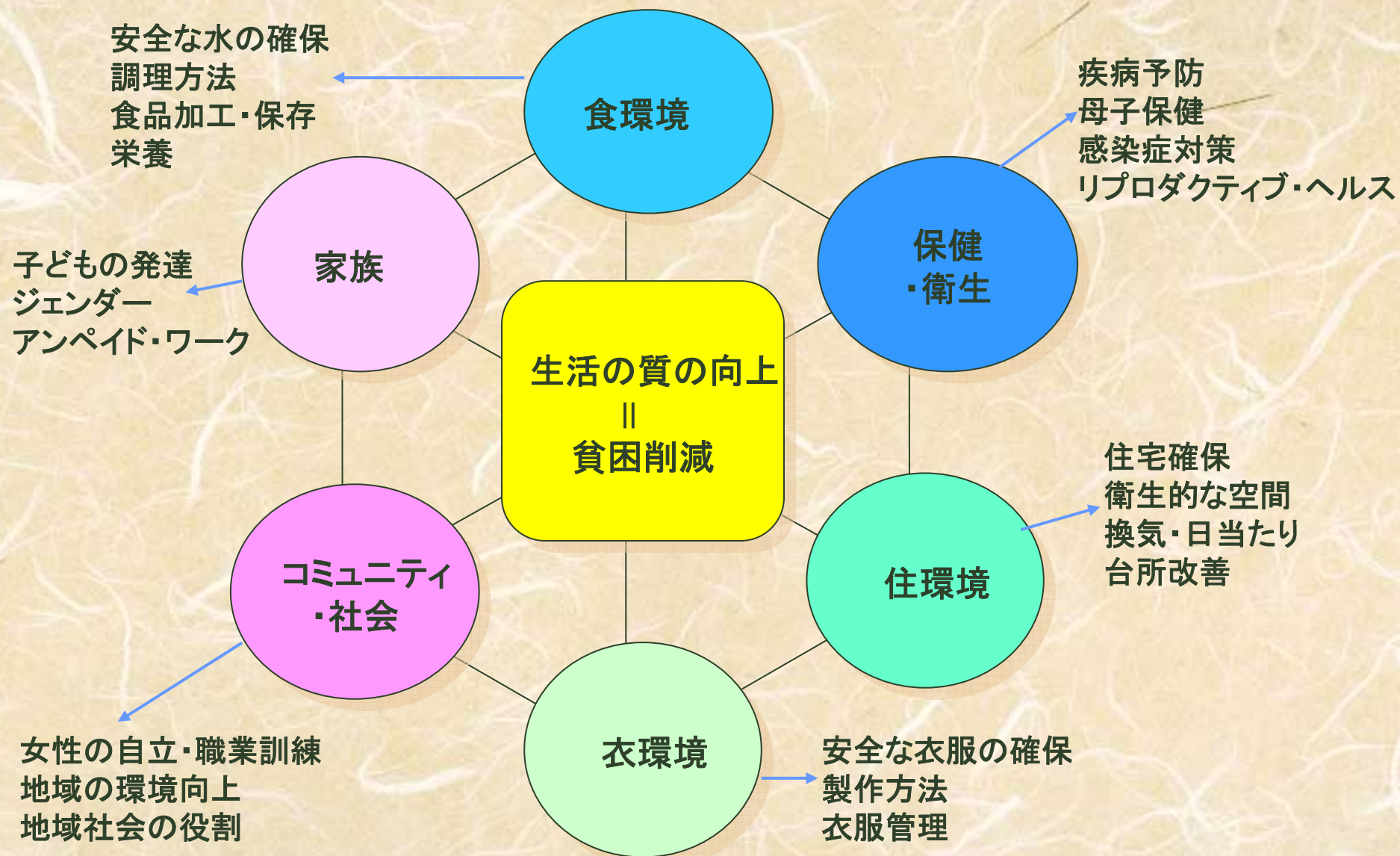
(1) 生活状況調査

1) 家政学の見地から「生活の質の向上」を基軸とした国際協力活動の分類表を作成

2) 「生活の質」に関する調査表の作成

派遣中の隊員や帰国隊員に派遣先の生活状況についてのアンケート調査・ヒヤリングによる状況表の作成

1) 「生活の質の向上」を基軸とした国際協力活動の分類



2)「生活の質」に関する調査表の作成

生活状況分類表

1)食環境

↓ 派遣地の普通の家庭の状況として、当てはまるものに○をつけてください(複数回答可)

	指標名	状況	分類	特徴・問題点
1	飲料水の確保	ア	ミネラルウォーター・ピュアウォーター	
		イ	水道水が常に確保	家庭で自由に調達できる
		ウ	水道水をためて主にその水を使用・ピュアウォーター	共同の水道から汲んで使用するなど
		エ	共同の水くみ場・井戸などに汲みに行く	飲料水が村の特定の場所で供給できる
		オ	雨水・ため池・共同の水をためる	雨水・川や池の水を使用する
		カ	池、川	洗浄用としてのみ使用可能
2	台所①コンロ・かまど	ア	コンロ	
		イ	かまど	
		ウ	金属の台に載せる	金属製の輪に三つの脚を付けたもの、五徳
		エ	石の台に載せる	石に2本の鉄棒をおいたものも含む
3	台所②排煙	ア	かまどから接続する排煙道を設けている	
		イ	開口部や壁の隙間などによる自然換気で排煙	
4	台所③配置	ア	母屋に調理のための部屋がある	
		イ	母屋の土間に調理場所がある	
		ウ	別棟に調理のための場所がある	
		エ	屋外で調理	
5	熱源	ア	電気	
		イ	ガス	
		ウ	石油・ケロシン	
		エ	練炭・炭・石炭	
		オ	枯れ木・薪・牛の糞	
6	食材料の確保	ア	食材料は自由に購入できる	作り手の知識次第で自由に料理ができる
		イ	一部の食材料(肉など)が高価で購入が困難	
		ウ	一部足りない食材料がある	特定の栄養素が補給しにくい
		エ	食材料は自分で調達	作物をつくり、家畜を飼う
		オ	食材料に乏しい	作物は育たず、家畜も飼えない
		カ	何もしない	物資の支給を待つ

3) 住環境			
	指標名	状況	分類
1	トイレ	ア	電気・水により糞尿が処理される
		イ	溜めた糞尿を回収する
		ウ	排泄後に水を用いて流し、糞尿は排水溝を通じて便槽に溜められる
		エ	地面に30cmほどの浅い溝を掘る
		オ	囲いの中に穴をあけ、外に流す
		カ	決まった場所がなく、屋外で排泄し、放置する
2	風呂①配置	ア	各家庭 母屋の中
		イ	各家庭 母屋から分離
		ウ	各家庭で井戸端や水がめでの沐浴
		エ	共同浴場
		オ	川や湖で沐浴

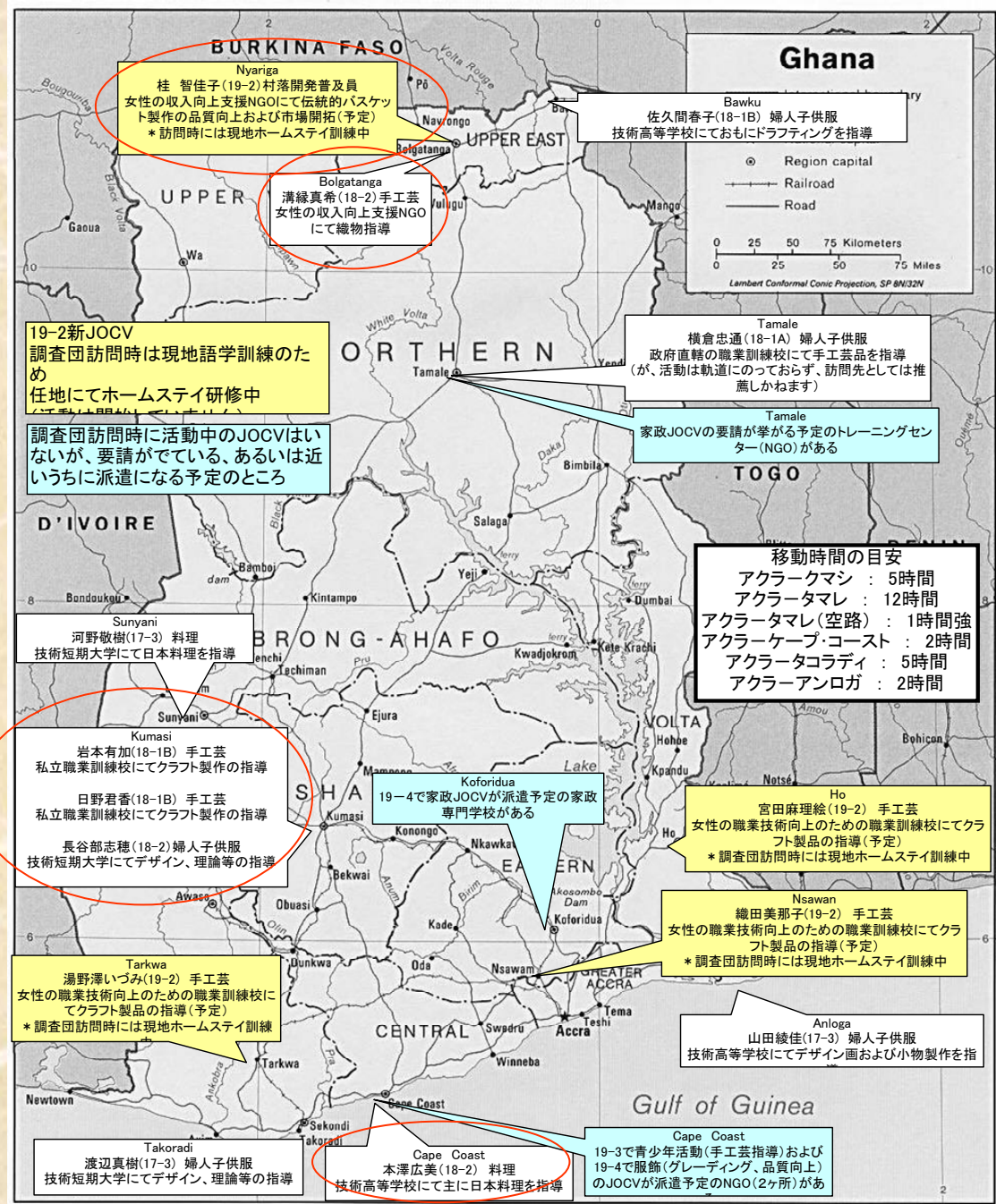
5)コミュニティ・社会

	指標名	状況	分類
1	ごみ処理	ア	分別回収後に、持続可能な処理が行われている
		イ	ごみの分別回収をしている
		ウ	ビニールなどの化学製品のごみ処理がなされていない
		エ	伝統的な循環型の生活をしている
2	女性の収入獲得	ア	女性が収穫・製作した販売品に付加価値をつける知識や技術を訓練する組織がある
		イ	女性が収穫・製作した販売品に付加価値をつける知識や技術を訓練する組織がない
3	店舗・販売所	ア	コミュニティ内に小さな店舗・販売所が複数ある。又は大きな店舗・販売所がある
		イ	コミュニティ内に小さな店舗・販売所が1～2か所ある
		ウ	コミュニティ内に店舗・販売所がない
4	コミュニティ活動	ア	集会所などの活動拠点がある
		イ	集会所などの活動拠点がない

(2) 現地調査

- **現地の生活状況の把握**
- **派遣隊員の活動の視察およびヒヤリング**
- **現地での教材・事例集の活用とその有効性の確認・改善**
- **現地の衣食住・衛生・環境の調査**

**ガーナ共和国
ボランティア
(家政関連)**



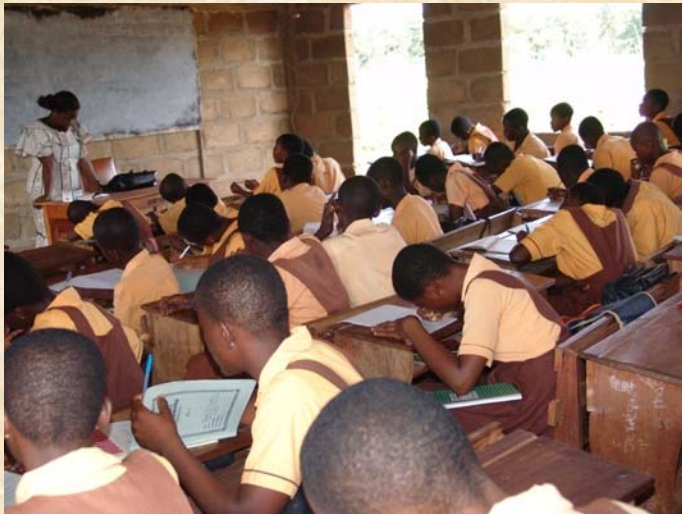
1)小・中・高・短期大学などの教育機関

① Northern州 Tamare

Dahin Sheli公立幼稚園・小学校
中学校 2007年10月16日見学



中学生の授業風景



1年生のケータリングの授業



とうもろこしの収穫



サッカー

技術短期大学



②Northern州 Kumashi
Kumasi Polytechnic
2007年10月17日見学



被服科の授業見学



家政隊員長谷部さんの3年生
デザイン指導の授業を見学

ケータリング実習



伝統的な料理フーフーを作る



1年生は基礎縫い



2年生は婦人服パターン実習



炭によるコンロでシチュー作り

私立技術専門高校 Northern州 Kumashi

2007年10月17日見学

③ Opoku Ware Vocational Inst.



④ Ramseyer Vocational Inst.



派遣隊員岩本さんに聞く

技術短期大学

⑤ Cape Coast Technical Institute

2007年10月18日見学



派遣隊員本澤さんに聞く

先生のデモンストレーションに注目



伝統的な染物を利用した小物

2)地域の職業訓練・環境支援施設

① ニヤリガ 手工芸協会

ボルガバスケットの制作・販売



ガーナ最北の州にある村

2007年10月15日

② ボルガタンガ 未亡人・孤児を支援する会

籠編み・織物・手工芸による自立支援



③ガーナ家族基金ケーブコーストクリニック



2007年10月18日

派遣隊員：コミュニティの中
のクリニックで、アドバイスや
応急手当、無料血圧診断会



3)コミュニティと環境

ビニールなどのゴミの
ポイ捨てによる町の
環境悪化

- ・マーケットで買い物
→ 黒いビニール袋
- ・ピュア・ウォーター
→ ビニールパック



派遣隊員の分科会（本務とは別に活動）

→Ex. 村落分科会

ピュアウォーターのパックの再利用
バッグやエプロン



(3)昨年度の成果

① 家政隊員への教材提供

- 家政分野隊員(被服)

- 家庭科ハンドブック・

- 服飾系専門学校カリキュラム

- 他の隊員の教材例

- 簡単に出来る教材(手提げカバン等)

- 家政分野隊員(食物)

- 家庭科ハンドブック

- エイズ関連資料

- 栄養教育資料(英語版)

エプロンシアター

(食物の消化・吸収) (体のしくみ・胎児の発育)

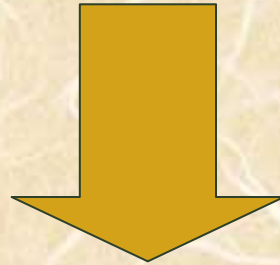


②他の分野の派遣隊員への家政分野の情報提供

- 村落開発普及員 → 生活支援全般の情報・
収入に結びつく作品づくり
ジェンダー等の問題解決
- 理数科隊員 → 教材作り(身近なものを使って)
- PC隊員 → 環境問題からのリサイクル商品の
開発
- 看護師 → 食生活情報・ジェンダーの問題

3. 今後の活動に向けて

現地調査に基づく生活状況・生活課題の集約
帰国隊員からの情報収集



派遣隊員が活用できる事例集の作成

- ・生活状況の分類
- ・地域別活動事例の提案
- ・学校およびコミュニティにおける活動事例の提案

活動事例集ー1

肥満・生活習慣病の予防

1ページ

目的

背景

ポイント

解説

目的

肥満や生活習慣病を予防するため、野菜を摂取するための調理法を提供する

背景

家庭科や栄養学の知識が不足しているため、栄養素の偏りがみられる。とくに肥満や生活習慣病（糖尿病など）は、比較的多くの地域でみられる。

そこで、栄養素をバランスよく摂取するため、野菜の摂取を促すことは、即効性のある手段と考えられる。しかし、野菜（ピーマン・なす・トマトなど）は比較的どこでも入手しやすいようであるが、調理法が未熟な地域が多く、あまり調理されていない。そこで、簡単な調理道具で嗜好的にも満足される野菜料理の要望が多いことから、事例集にとりあげた。

ポイント

- 1、だれでも・どこでも簡単に作れる野菜の調理方法を解説する。
- 2、食中毒防止のために、なるべく生は使用しない。
- 3、煮込むだけなので、簡易的な鍋と熱源のみで作成できる。
- 4、やわらかいので、離乳食・病人食・高齢者食にも応用できる。

野菜は一例であり、どんな野菜にも適する調理法で、味つけは塩があれば良く、他に地元の香辛料を加えれば土地の味に馴染むものと考えられる。

解説

マダガスカル隊員の中地さんは、野菜料理として簡単なサラダを取り上げている。しかし、野菜を洗う水が汚染されていると、食中毒の原因になりかねない。そこで、応用として、比較的どの地域にもあるが比較的食べにくい野菜としてあまり食されていない、なす、ピーマンを使用し、簡単な煮込み（野菜の汁のみで煮込むので、水が貴重な地域でも出来やすく、よく煮込めば食中毒の心配もない。また、やわらかくなるので、癖のある野菜も食べやすい。また、ソース、付け合せ、前菜にと幅広く利用できる地中海沿岸の調理法「ラタトゥイユ」を取り上げた。

2ページ

隊員報告書より

教材例：マダガスカル平成16年2次家政中地隊員報告書 p18より

Asatánana

18



Manandranana manao salady 1

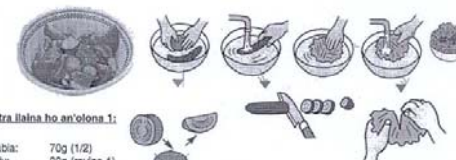


Zavatra ilaina ho an'olona 1:

Salady : 50g
persily : 50g
voatabia : kely 2
Saosy :
Vinaingitra : 1 sotrokely
Manaka : 2 sotrokely
Sira : 1/5 sotrokely
Diposavatra : kely



Manandranana manao salady 2



Zavatra ilaina ho an'olona 1:

Voatabia : 70g (1/2)
Salady : 30g (navina 1)
Kokombre : 50g (1/2)
Saosy :
Vinaingitra : 1 sotrokely
Manaka : 2 sotrokely
Sira : 1/5 sotrokely
Diposavatra : kely

3, 4ページ 活動事例案



応用
Ratatouille
ラタトゥイユ

栄養価 (1人分)
エネルギー
125Kcal
たんぱく質 2.7g
脂質 7.8g

材料と下ごしらえ

☆なす…250g 1cmの輪切り、水にさらす



☆トマト…400g 茎を取り落しにつけ3秒、冷水にとる→湯むき 種を取り除き切り



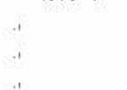
☆ピーマン…80g 種を取り1cm幅の縦半切り



☆たまねぎ…200g 0.5cmの薄切り



☆クールジェット…150g 横に皮をむく 0.8cmの輪切り
(ズッキーニ)

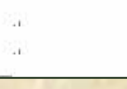


☆食塩・こしょう…少量

☆オリーブオイル…30ml

☆ブーケガルニ

☆にんにく…1片 みじん切り



作り方

① 無に油を熱し、にんにくを炒める

② たまねぎ、なす、ピーマン、クールジェット ③ トマトを加えて5分炒め
を順に加えて炒める 中火: 5~6分



④ 食塩、こしょうで調味し、
ブーケガルニを加える

⑤ ふたをきっちりして弱火で40分煮
込む (ときどきをかきまぜる)



⑥ ふたをとり煮りの水分を蒸発させる
(なべ底に水分が煮らないくらいに)

⑦ ブーケガルニをとりのぞく



※ 注意事項

皮のむき身、大きさは適宜、香辛料も土地のもので OK

活動事例集－2

日常着の製作－エプロン

1ページ

目的 背景 ポイント 解説

目的：衣服の構成を理解する 上半身1 エプロン

背景：

ポイント：平面である布を立体的な身体に合わせるにはどうしたらいいか考えさせる

身体の大きさから必要な布の大きさを考える

(1) エプロンの構成

エプロンは上半身の前面を覆う布と、その布を体に固定する紐とで構成されているものが多い

頭からかぶって着用する場合は首にかける紐を頭周より長くすることが必要である

(2) エプロンの製作

・簡単な上衣としてエプロンの製作をする

手順は

1) 型紙を布にあてて縫い代をとって裁断する。中央をわ(布の折り目)にあわせると左右対称になる。エプロン本体1枚と紐3本が最低限必要なパーツになる

2) 縫う縫いに印をつける。チャコペーパーとルレットを使えば簡単だが、へらやチャコでつけることもできる

3) 紐を縫う。紐は布を縦に四つ折にして縫うか、中表にして縫ってひっくり返すのが一般的なつくり方

4) エプロン本体の周囲を三つ折して縫う

5) 紐をつける。三つ折して縫う時縫い代にはさんで縫うとより丈夫に仕上がる

応用例：

- 布の斜め方向(バイアス方向)を用いてドレープ性を出す
- 使いやすい位置にポケットをつける
- 古着の利用として、大きなシャツを解体して構成を知り、それをエプロンにする
- これを着て調理実習をする



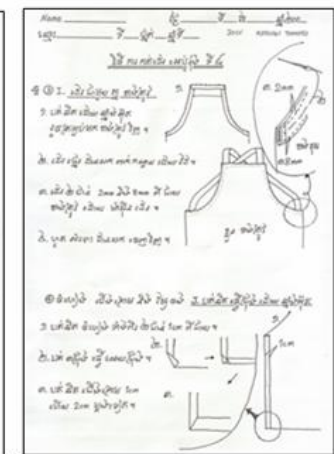
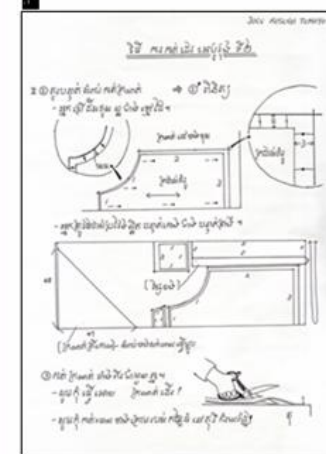
2ページ

隊員報告書より

16年度1次隊・カンボジア(家政)

小杉智代

教材例 エプロンの作成



ポイント

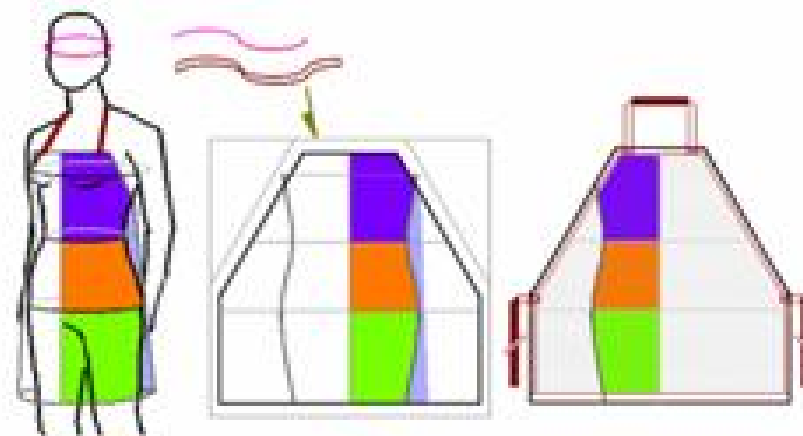
- ・型紙をどう置くと効率よく布が使えるか(この教材では三角巾も一緒にとることができる)
- ・縫い代の取り方
- ・布を裁つときの注意点
- ・縫う手順

3ページ 活動事例案

参加型学習 ワークシート案

ワークシート

新聞紙などを身体にあててどんな型をとったらいいか考えよう。
その紙を元に型紙を作り、大きさを測ってみよう。

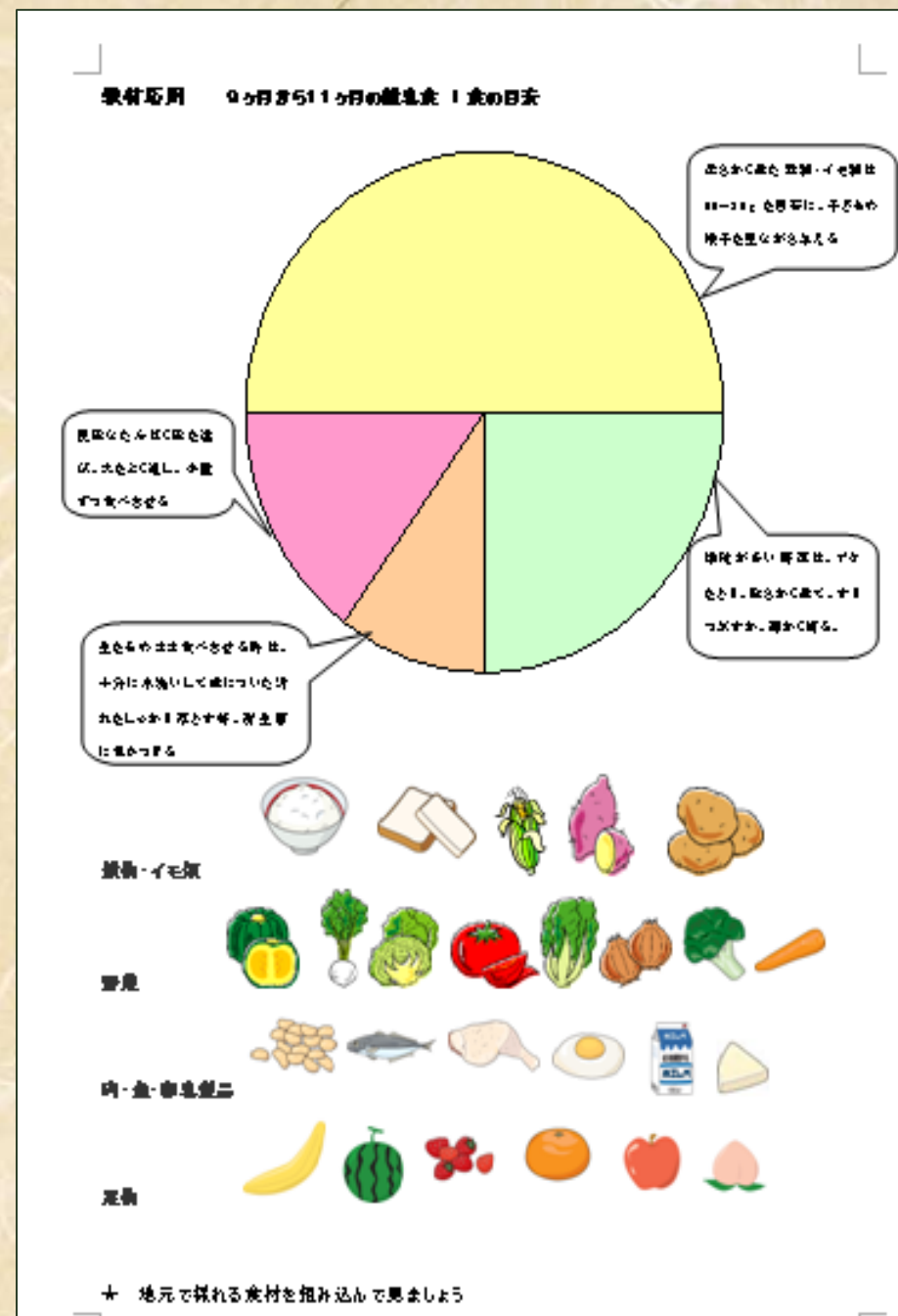


どの順番で製作したらいいか考えよう。

() → () → () → () → ()

- a) 紙を三つ折して切る。
- b) 型紙をあてて紙を裁断する。
- c) 縫を縫う。
- d) 紐をつける。
- e) 紐を縫い付ける。

参加型学習 ワークシート案



活動事例集ー4

環境を考えた消費生活ーリサイクル

1ページ 目的 背景 ポイント 解説

目的

ビュア・ウォーターのビニールバッグを原料としたエコ・バッグ等の製作を通じ、ゴミ問題の知識と関心を高める。

背景

近年、地上国の各都市において、ゴミ問題が深刻化している。都市部のみならず、地方の村でも、従来あまりみられなかったビニール袋などの製品が日常的に使用・廃棄されるようになり、廃棄物の散乱やこれに伴う公衆衛生上及び環境上の汚染問題が顕在化している。本事例でとりあげるカーナ村では、食品の購入で頻りに使用される薄いビニール袋やビュア・ウォーターの袋が道路や空を地に散乱・蓄積し、環境悪化を招いている。ゴミのポイ捨ては日常化しており、多くの車両で回収行われる廃棄物、袋の中のごみを外に舞きだす排塵となっている。生物資源由来のごみを中心として地中で埋立時に形成されてきた堆肥型管理システムが、動物資源由来の新しい形態のごみに対応できなくなっている状態といえる。しかしながら、地中の埋立に、こうした新しいごみ及びそれがもたらす地味環境の悪化に対する知識や関心は薄いのが現状である。

ポイント

- ・道路やまちで散置されているごみの回収や対策に気づく。
- ・日常生活で発生するごみの種類や性質、発生・環境上の汚染問題を理解する。
- ・散乱したポイ捨てごみの一つとして、ビュア・ウォーターのビニール袋をとりあげ、原料としたバッグや小物、即合羽などの製品を制作する。

解説

ビュア・ウォーターのビニールバッグの再利用製品製作は、カーナ派遣隊員が、本村とは別に外務省をこえて自主活動している分科会から生まれたものである。本島の製作活動を行っている吉川孝子さんは、アロインストラクターの派遣隊員（2007年4月～）である。

ビュア・ウォーターの会社は多岐に及ぶため、メーカーによってバッグの素材と性質が若干異なる。特に貼り合わせの温度は、高温では溶けることがあるので、温度から徐々に温度をあげて試す必要がある。

製作を通して、地味でおきているゴミ問題の知識や関心を高めることができるよう、ワークショップや紙魚等の中で実施すると効果的である。また、子どもや住民が制作した製品の展示会や販売会等の開催も地味の状態に応じて計画しておくといよい。

2ページ 活動事例案

製作例：ビュア・ウォーターのビニールバッグを原料とした製品の作成

1. ビュア・ウォーターのバッグ（本島産）を平面に折り広げる。
2. アイロンで熱しながら、バッグやエプロン等を制作する。

＜製作例＞

- ・フックカバン
- ・トートバッグ
- ・ファスナー付きバッグ（ファスナーは手縫いでつける）
- ・エプロン
- ・ペンケース（片面を二重に貼り合わせて縫製）
- ・ぬいぐるみ（熊）・飛行機・・・等を製作



活動事例集－5

調理の方法－加熱調理器具の種類 かまど

1ページ 目的 背景 ポイント 解説

目的

かまどの改良を行い燃費を向上させる。

背景

途上国では、かまどの効率と設置方法についての知識が不足している。本注などの臨床や実務研修の経験にはかまどの構造が重要であるが、知識不足を解消するための事例としてとりあげた。

ポイント

- ・現地の特産品で構成可能なものを作る
- ・伝統的であること、つまり伝統が壊れると役に立たないことが不可欠
- ・沿岸地域であれば既設で整備、その他の地域では既設の整備を工夫し、改良を自分たちが試行して成功させること

解説

日本式のかまどが、アフリカで「エンザロかまど」と呼ばれて普及されている。エンザロかまどは1度に同時に薪を焚きこめる効率の良いかまどとして、日本人により考案され、石を重ねて土台を作り、煙を溜め込んで日本式のかまどを作るもの。煙で火の勢が弱るのを防ぎ、子どもがやけどすることもなくなり、調理時間も短くなるなどの効果が報告されている。

材料は現地で調達できるものが多く、土台は石・レンガなどを使用し、表面は泥やシロアリの巣、土とロバのフンをこねたものなどがあり、水などを通して作る。日本ではわらなども積み込んでつくることもある。

構造は、煙を外に煙突が設けられ、煙道の高い煙は煙突から外へ、放熱後は調理スペースの底を熱するようになっている形が一般的で、土台で煙のせられる構造が必要とされる。燃料を効率的に、煙がすややくを排除するための仕組みが必要である。従来の構造を同時に調理できると効率である。

取材地：なし

2ページ 活動事例案

写真

効率の良いかまどの例（上：サモア、下：ガーナ）



構成のポイント

- 1) 炎を露出させず、おんなどなどで囲って暖めること
熱が逃げず、効率が上がり、実務研修の経験と実証が可能になる。
- 2) 煙を煙道に誘導することが望ましい（煙道・煙突の設置）
煙によって目を眩められる呼吸器の病気や熱気による火傷などを防げる。また煙がすややくを長時間もたせ続ける本注によく見られるのが煙が煙道である。煙を導くのに煙道まで長く時間がかかり、煙道であるとともに、本注の煙道もこれに起因することがある。そこで条件を改善するには、各戸の煙を外に出す工夫が必要で、煙道をつけることが必要になる。